

全校生徒が書いた作品の中から、優れたものを紹介します。五月のお題は、「さわやかなもの」・『動物』を詠み込む・(一年生のみ「地域探訪」です。

月間賞

鼻くすぐる初夏の香りにさそわれて輝く水へ友と駆け出す

一 二 安田 唯

第二席

梅雨入りの雨に交わる水魚たち相合傘から落ちる水滴
風が吹き終わりがけの春のにおい暑い夏はもうすぐそこに

二 一 中澤ひなた
三 二 須藤 雄人

第三席

朽ち果てし昔の我が家の台所おつかいメモの「シベリア」残る
ぱちぱちとはじけるサイダー汗涙青春とともにかけぬけた夏
列をなし涼しさ求める雀たち見つけた水場に輝きを増す
休日に変な寝方のウサギさんいつもは怖い兄がほほ笑えむ
誰かがね私を呼んだ 振り向くとお花が一つほほ笑んでいた

三 一 三 氏家 鉄朗
二 一 三 菅原 滯
三 一 二 佐藤 優希
一 一 一 大沼 璃乃
一 一 三 佐々木涼花

優良賞

ぐつぐつと鍋で煮詰めて冷水に麵つゆつけてすすするそうめん
花落ちて土固まりし梅雨の朝河原の土手でミーは死んでた。
萌葱色さわやかな風に揺られてはみんなに知らせる夏は目の前
下校する背中を風が押してきて駅までの道朝より軽い
青空と茅花流しに身をゆだね季節が流れる夏よ来ないで
練習中うぐいすの声さわやかでリフレッシュして出迎えた初夏
海風のすずしげな風にさそわれて自然が鳴いた空のもとへと

三 一 一 千葉奈津美
三 一 三 氏家 鉄朗
二 一 一 横山 董
二 一 二 金子 愛弓
二 一 三 千葉みずき
一 一 二 鈴木 浩虹
一 一 二 廣瀬 亜美

佳作

日頃から可愛がってた家の牛 連れていかれて名前忘れき
喫茶店アイスクリームが溶けゆくを時間と一緒にじつと眺める
春なのに真夏の日差しに照らされてゴールテープがゆらめくグラウンド

二 一 二 佐々木史穂乃
二 一 三 鈴木 日和
一 一 三 松岡 美咲

国語科からのアドバイス： 今月もすてきな短歌たくさん集まりました。安田さんの「輝く水へ友と駆け出す」のところ、いいですね。「海」と書けば簡単なのですが、「輝く水へ」としたところに工夫があります。中澤さんの「水魚たち」も同じ。「恋人同士」と言わないところが上級者です。短歌など、詩のおもしろさの一つですね！みなさんも使ってみて下さい。(和)